

1. Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1 or 2 可変
Data Bit	8 or 7 可変
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2400~38400bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF

2. Write command

HD-SDI マルチビューワ (SMV-900) が Menu を表示している状態ではコマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「EO+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

2-2. Command

2-2-1. アラーム関連

2-2-1-1. 「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

アラーム状態の時に「ALARM」という文字を表示しない設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2. 「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

アラーム状態の時に「ALARM」という文字を表示する設定にします。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3. 「ADTnnn+CR,LF」 (Alarm Duration Time nnn)

アラーム状態の保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。
nnnは秒数で設定範囲は【003】～【999】秒です。

2-2-1-4. 「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

アラームのモードを外部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5. 「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

アラームのモードを内部に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6. 「APB+CR,LF」 (Alarm Polarity Break)

アラーム入力の極性をブレイクに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

アラームのモードが外部の場合は、常にメーク設定になります。

2-2-1-7. 「APM+CR,LF」 (Alarm Polarity Make)

アラーム入力の極性をメークに設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラーム リターンを OFF に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラーム リターンを ON に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

分割画面の境界線を黒色に設定します。

2-2-2-2. 「BLG+CR,LF」 (Border Line Gray)

分割画面の境界線を灰色に設定します。

2-2-2-3. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)

分割画面の境界線を無しに設定します。

2-2-2-4. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

分割画面の境界線を白色に設定します。

2-2-3. カメラチャンネル選択

2-2-3-1. 「CCAS+CR,LF」 (Change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスのカメラ切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-2. 「CD4A+CR,LF」 (Change Division screen 4A)

4分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-3. 「CD4B+CR,LF」 (Change Division screen 4B)

4分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-4. 「CD 4 C+CR,LF」 (Change Division screen 4C)

4 分割画面 C を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-5. 「CD 6 A+CR,LF」 (Change Division screen 6A)

6 分割画面 A を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-6. 「CD 6 B+CR,LF」 (Change Division screen 6B)

6 分割画面 B を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-7. 「CD 9+CR,LF」 (Change Division screen 9)

9 分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-3-8. 「CS 0 1+CR,LF」～「CS 0 9+CR,LF」 (Change Single screen ch.1～9)

単画面のチャンネル No. 1～9 を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但し ALARM MODE の設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

2-2-4. 自動切換えモード

2-2-4-1. 「CASMD+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Division)

オートシーケンスのモード設定を【DIV.】にします。

2-2-4-2. 「CASMM+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Mix)

オートシーケンスのモード設定を【MIX】にします。

2-2-4-3. 「CASMS+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Mode Single)

オートシーケンスのモード設定を【SINGLE】にします。

2-2-5. 自動切換え時間設定

2-2-5-1. 「CASTD 4 A n n+CR,LF」～「CASTD 9 n n+CR,LF」

(Camera Auto Sequence Time Division Div4.A～Div.9)

分割画面オートシーケンスの画面切り替え時間を設定します。

n n は時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-5-2. 「CASTD n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Division)

分割画面オートシーケンスの画面切り替え時間を一斉に設定します。

n n は時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

nnは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

n nは時間で単位は秒です。 設定範囲は【00】～【99】秒です。
【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR.LF」を返し設定しません。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR LF」を返し設定しません。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

4分割画面時のタイトル表示を **OFF** に設定します。

4 分割画面時のタイトル表示を ON に設定します。

6分割画面時のタイトル表示をOFFに設定します。

6 分割画面時のタイトル表示を ON に設定します。

2-2-7-6. 「CTDD9OF+CR,LF」 (Character Title Display Division 9 screen Off)

9分割画面時のタイトル表示をOFFに設定します。

2-2-7-7. 「CTDD9ON+CR,LF」 (Character Title Display Division 9 screen On)

9分割画面時のタイトル表示をONに設定します。

2-2-7-8. 「CTDSOF+CR,LF」 (Character Title Display Single screen Off)

単画面時のタイトル表示をOFFに設定します。

2-2-7-9. 「CTDS ON+CR,LF」 (Character Title Display Single screen On)

単画面時のタイトル表示をONに設定します。

2-2-7-10. 「SCTDOF+CR,LF」 (Spot Character Title Display Off)

スポット画面のタイトル表示設定を【OFF】にします。

2-2-7-11. 「SCTDON+CR,LF」 (Spot Character Title Display On)

スポット画面のタイトル表示設定を【ON】にします。

2-2-7-12. 「CTPXnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Character Title Position X 座標)

全ての単画面のタイトル表示位置X座標を設定します。

設定範囲は【00】～【22】です。

2-2-7-13. 「CTPX01nn+CR,LF」～「CTPX09nn+CR,LF」

(Character Title Position X 座標 ch.01～ch.09)

単画面のタイトル表示位置X座標を個別に設定します。

設定範囲は【00】～【22】です。

2-2-7-14. 「CTPYnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Character Title Position Y 座標)

全ての単画面のタイトル表示位置Y座標を設定します。

設定範囲は【02】～【15】です。

2-2-7-15. 「CTPY01nn+CR,LF」～「CTPY09nn+CR,LF」

(Character Title Position Y 座標 ch.01～ch.09)

単画面のタイトル表示位置Y座標を個別に設定します。

設定範囲は【02】～【15】です。

2-2-8. 日付,時刻設定

2-2-8-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)

日付の日の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【31】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)

日付の月の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【01】～【12】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)

日付の年の単位を設定します。

nnは設定値で範囲は【00】～【99】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-4. 「TSA+CR,LF」 (Time Set Adjust)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-5. 「TSHnn+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【23】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-6. 「TSMnn+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-8-7. 「TSSnn+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位の設定をします。

nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-9.時刻&表示設定

2-2-9-1. 「TSDOF+CR,LF」 (Time Signal Display Off)

メイン画面の時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-9-2. 「TSDON+CR,LF」 (Time Signal Display On)

メイン画面の時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-9-3. 「STSDOF+CR,LF」 (Spot Time Signal Display Off)

4分割専用出力画面の時刻表示の設定を【OFF】にします。

2-2-9-4. 「STSDON+CR,LF」 (Spot Time Signal Display On)

4分割専用出力画面の時刻表示の設定を【ON】にします。

2-2-9-5. 「TSDR 1+CR,LF」～「TSDR 8+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1～8)

時刻表示のレンジを設定します。

- 1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。
- 2は【YMDHM】 年月日時分 です。
- 3は【YMD】 年月日 です。
- 4は【MDHMS】 月日時分秒 です。
- 5は【MDHM】 月日時分 です。
- 6は【MD】 月日 です。
- 7は【HMS】 時分秒 です。
- 8は【HM】 時分 です。

2-2-10. ボタン ロック設定

2-2-10-1. 「LOF+CR,LF」 (Lock Off)

ボタン・ロックを解除します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-10-2. 「LON+CR,LF」 (Lock On)

ボタン・ロックを設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けると「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-11. OSD 表示位置微調整

2-2-11-1. 「OOH 0 0+CR,LF」～「OOH 1 5+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal 00～15)

OSD 表示の水平方向の微調整をします。

2-2-11-2. 「OOV 0 0+CR,LF」～「OOV 1 5+CR,LF」 (OSD Offset Vertical 00～15)

OSD 表示の垂直方向の微調整をします。

2-2-12. 電源投入時画面設定

2-2-12-1. 「POSCAS+CR,LF」 (Power On Screen Camera Auto Sequence)

電源投入時の画面を自動切換えに設定します。

2-2-12-2. 「POSD 4 A+CR,LF」～「POSD 9+CR,LF」 (Power On Screen Division Div.4A～Div.9)

電源投入時の画面を分割画面に設定します。

2-2-12-3. 「POSS 0 1+CR,LF」～「POSS 0 9+CR,LF」 (Power On Screen Single ch.01～09)

電源投入時の画面を単画面に設定します。

2-2-13. 分割画面ランダム配置

2-2-13-1 「SPD 4 A n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.4A)

4 分割画面 A に任意のチャンネルを配置します。

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

2-2-13-2 「SPD 4 B n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.4B)

4 分割画面 B に任意のチャンネルを配置します。

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

2-2-13-3 「SPD 4 C n n n n n n n n+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.4C)

4 分割画面 C に任意のチャンネルを配置します。

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

2-2-13-4「SPD6Annnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.6A)

6分割画面Aに任意のチャンネルを配置します。

nnはチャンネルで【01】～【09】です。

2-2-13-5「SPD6Bnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.6B)

6分割画面Bに任意のチャンネルを配置します。

nnはチャンネルで【01】～【09】です。

2-2-13-6「SPD9nnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Screen Placement Division Div.9)

9分割画面に任意のチャンネルを配置します。

nnはチャンネルで【01】～【09】です。

2-2-14.ビデオ・ロス

2-2-14-1.「VL01OF+CR,LF」～「VL09OF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～09 Off)

ビデオ ロスの検出設定を【OFF】にします。

2-2-14-2.「VL01ON+CR,LF」～「VL09ON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～09 On)

ビデオ ロスの検出設定を【ON】にします。

2-2-14-3.「VLoooooooooooo+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01～09)

ビデオ ロスの検出設定を一斉にします。

oは、「F」が【OFF】，「N」が【ON】です。

2-2-14-4.「VLDOF+CR,LF」 (Video Loss Display Off)

ビデオ ロスの表示設定を【OFF】にします。

2-2-14-5.「VLDON+CR,LF」 (Video Loss Display On)

ビデオ ロスの表示設定を【ON】にします。

2-2-14-6.「VLSOOF+CR,LF」 (Video Loss Signal Out Off)

ビデオ ロスの信号出力設定を【OFF】にします。

2-2-14-7.「VLSOON+CR,LF」 (Video Loss Signal Out On)

ビデオ ロスの信号出力設定を【ON】にします。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

「E 0+CR,LF」	Framing error
「E 1+CR,LF」	Parity error
「E 2+CR,LF」	Overrun error
「E 3+CR,LF」	Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

「ALARM」文字表示の設定を返します。

「ADOF+CR,LF」 表示 OFF

「ADON+CR,LF」 表示 ON

3-2-1-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラーム保持時間の設定を返します。

「ADT 0 0 3+CR,LF」～「ADT 9 9 9+CR,LF」 3～999 秒

3-2-1-3.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

アラーム モードの設定を返します。

「AME+CR,LF」 External (外部)

「AMI+CR,LF」 Internal (内部)

3-2-1-4.「RAP+CR,LF」 (Read Alarm Polarity)

アラーム入力極性の設定を返します。

「APB+CR,LF」 ブレーク (Break)

「APM+CR,LF」 メーク (Make)

3-2-1-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム リターンの設定を返します。

「AROF+CR,LF」 OFF

「ARON+CR,LF」 ON

3-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

3-2-2-1.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

分割画面の境界線の設定を返します。

「BLB+CR,LF」 黒色

「BLG+CR,LF」 灰色

「BLO+CR,LF」 無し

「BLW+CR,LF」 白色

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)

SMV-900 の現在の状態を返します。

「CAS+CR,LF」 オートシーケンスで動作中

「D 4 A+CR,LF」 or 「D 9+CR,LF」 分割画面

「S 0 1+CR,LF」～「S 0 9+CR,LF」 単画面カメラ ch.

「A 0 1+CR,LF」～「A 0 9+CR,LF」 Alarm 保持中 ch.

「MENU+CR,LF」 Menu 表示中

3-2-4. 自動切換えモード

3-2-4-1. 「RCAS+CR.LF」 (Read Camera Auto Sequence Mode)

自動切換えええモードの設定を返します。

「CASMD+CR,LF」 分割画面

「CASMS+CR.LF」 単画面

「CASMM+CR.LF」 ミックス

3-2-5.自動切換之時間

3-2-5-1. 「RCAS TD+CR.LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division screen)

分割画面の自動切換えモードの時間設定を返します。

```
「CASTDnnnnnnnnnnnnnnn+CR.LF」
```

3-2-5-2. 「RCASTD4A+CRLF」～「RCASTD9+CRLF」

(Read Camera Auto Sequence Time Division Div.4A~Div.9)

分割画面の自動切換えの時間設定を個別に返します。

$$[\text{CASTD4An n+CR,LF}] \sim [\text{CASTD9nn+CR,LF}]$$

nnは【00】～【99】秒です。

3-2-5-3. 「RCAS TM+CR.LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)

自動切換えモードの時間設定をまとめて返します。

「CASTMnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR.LF」

3-2-5-4. 「RCASTS+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen)

単画面の自動切換えモードの時間設定をまとめて返します。

```
[CASTSnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR LF]
```

3-2-5-5. 「RCASTS01+CR.LF」 $\sim$ 「RCASTS09+CR.LF」

(Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch. 1~9)

単画面の自動切換えモードの時間設定を個別に返します。

「CASTS0100+CRLF」～「CASTS0999+CRLF」

3-2-6.コネクタ入力

3-2-6-1. 「RCI+CR.LF」 (Read Connector In)

端子台入力の設定を返します。

「CIA+CR.LF」 アラーム

「CIR+CR,LF」 リモート

3-2-7.タイトル関連

3-2-7-1. 「RCT01+CR,LF」～「RCT09+CR,LF」 (Read Character Title ch.01～ch.09)

各チャンネルのタイトル設定を返します。

$$[CT01*****+CR.LF] \sim [CT09*****+CR.LF]$$

3-2-7-2. 「RCTDD4+CR.LF」 (Read Character Title Display Division screen 4)

4 分割画面時のタイトル設定を返します。

「CTDD4OF+CR.LF」, 「CTDD4ON+CR.LF」

3-2-7-3. 「RCTDD6+CR.LF」 (Read Character Title Display Division screen 6)

6 分割画面時のタイトル設定を返します。

「CTDD6OF+CR.LF」, 「CTDD6ON+CR.LF」

9 分割画面時のタイトル設定を返します。
「CTDD9OF+CR.LF」, 「CTDD9ON+CR.LF」

単画面時のタイトル設定を返します。
「CTDSOF+CR,LF」, 「CTDSO+CR,LF」

4 分割専用出力画面のタイトル設定を返します。
「SCTDOF+CR,LF」, 「SCTDON+CR,LF」

単画面時の全チャンネルのタイトル位置X座標設定を返します。
「CTPXnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

(Read Character Title Position X ch.01~ch.09)
単画面時の各チャンネルのタイトル位置X座標設定を返します。
「CTPX0100+CR,LF」～「CTPX0922+CR,LF」

単画面時の全チャンネルのタイトル位置 Y 座標設定を返します。
「CTPYnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR.LF」

(Read Character Title Position Y ch.01~ch.09)
単画面時の各チャンネルのタイトル位置 Y 座標値の設定を返します。
「CTPY0102+CR.LF」～「CTPY0915+CR.LF」

SMV-900 の日付&時刻を返します。

「y y y y . m m . d d h h : M M : s s +CR,LF」

y y y y =年 m m =月 d d =日 h h =時 M M =分 s s =秒

メイン画面の時刻表示の設定を返します。

「TSDOF+CR,LF」	【OFF】
「TSDON+CR,LF」	【ON】

4 分割専用出力画面の時刻表示の設定を返します。

「STSDOF+CR,LF」	[OFF]
「STSDON+CR,LF」	[ON]

3-2-9-3. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDR 1+CR,LF」～「TSDR 8+CR,LF」

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

3-2-10. ボタン ロック

3-2-10-1. 「RL+CR,LF」 (Read Lock condition)

ボタン ロックの状態を返します。

「LOF+CR,LF」 ロック OFF

「LON+CR,LF」 ロック ON

3-2-11. OSD 表示位置微調整

3-2-11-1. 「ROOH+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)

OSD 表示の水平方向の微調整値を返します。

「OOH 0 0+CR,LF」～「OOH 1 5+CR,LF」

3-2-11-2. 「ROOV+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)

OSD 表示の垂直方向の微調整値を返します。

「OOV 0 0+CR,LF」～「OOV 1 5+CR,LF」

3-2-12. 電源投入時の画面設定

3-2-12-1. 「RPOS+CR,LF」 (Read Power On Screen)

電源投入時の画面設定を返します。

「POSCAS+CR,LF」 自動切換え

「POSD 4 A+CR,LF」～「POSD 9 CR,LF」 分割画面

「POSS 0 1+CR,LF」～「POSS 0 9+CR,LF」 単画面

3-2-13 分割画面ランダム配置

3-2-13-1. 「RSPD 4 A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.4A)

4 分割 A のチャンネル配置設定を返します。

「SPD 4 A n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-13-2. 「RSPD 4 B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.4B)

4 分割 B のチャンネル配置設定を返します。

「SPD 4 B n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-13-3. 「RSPD 4 C+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.4C)

4 分割 C のチャンネル配置設定を返します。

「SPD 4 C n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-13-4. 「R S P D 6 A+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.6A)

6 分割 A のチャンネル配置設定を返します。

「S P D 6 A n n n n n n n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-13-5. 「R S P D 6 B+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.6B)

6 分割 B のチャンネル配置設定を返します。

「S P D 6 B n n n n n n n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-13-6. 「R S P D 9+CR,LF」 (Read Screen Placement Division Div.9)

9 分割のチャンネル配置設定を返します。

「S P D 9 n n n n n n n n n n n n n n n n n n n n+CR,LF」

n n はチャンネルで【0 1】～【0 9】です。

3-2-14. ビデオ・ロス

3-2-14-1. 「R V L+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01～09)

ビデオ・ロスの全設定を返します。

「V L o o o o o o o o o o+CR,LF」

o は、「F」OFF, 「N」ON です。

3-2-14-2. 「R V L 0 1+CR,LF」～「R V L 0 9+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01～09)

ビデオ・ロスの個別設定を返します。

「V L 0 1 O F+CR,LF」～「V L 0 9 O N+CR,LF」

3-2-14-3. 「R V L D+CR,LF」 (Read Video Loss Display)

ビデオ・ロスの表示設定を返します。

「V L D O F+CR,LF」 OFF

「V L D O N+CR,LF」 ON

3-2-14-4. 「R V L S O+CR,LF」 (Read Video Loss Signal Out)

ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。

「V L S O O F+CR,LF」 OFF

「V L S O O N+CR,LF」 ON

3-2-15. バージョン情報

3-2-15-1. 「R V N+CR,LF」 (Read Version Number)

ファームウェアのバージョン ナンバーを返します。

「V N n. n n+CR,LF」 n は数値です。

4. ご注意

Command の発行と同時に SMV-401 のフロントスイッチを操作、またはリモート操作を行いますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 100mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

CT Command の発行を連続で行う場合 500mseconds.以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

5.変更履歴

- 2013.11.06 初版
- 2013.12.16 Spot Output の項目を追加
- 2014.10.21 「2-2-7-1」 「C T」 コマンドに例外キャラクタに関する記述を追加。
- 2017.07.19 「2-2-7-1」 “Character” 誤字修正
- 2017.11.13 ASCII Code 表 ‘ー’ 02BH を 02DH に修正

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	020H	a	061H	タ	0C0H
		b	062H	チ	0C1H
:	03AH	c	063H	ツ	0C2H
<	03CH	d	064H	テ	0C3H
>	03EH	e	065H	ト	0C4H
—	02DH	f	066H		
.	02EH	g	067H	ナ	0C5H
/	02FH	h	068H	ニ	0C6H
		i	069H	ヌ	0C7H
0	030H	j	06AH	ネ	0C8H
1	031H	k	06BH	ノ	0C9H
2	032H	l	06CH		
3	033H	m	06DH	ハ	0CAH
4	034H	n	06EH	ヒ	0CBH
5	035H	o	06FH	フ	0CCH
6	036H	p	070H	ヘ	0CDH
7	037H	q	071H	ホ	0CEH
8	038H	r	072H		
9	039H	s	073H	マ	0CFH
		t	074H	ミ	0D0H
A	041H	u	075H	ム	0D1H
B	042H	v	076H	メ	0D2H
C	043H	w	077H	モ	0D3H
D	044H	x	078H		
E	045H	y	079H	ヤ	0D4H
F	046H	z	07AH	イ	0A8H
G	047H			ユ	0D5H
H	048H	ア	0B1H	エ	0AAH
I	049H	イ	0B2H	ヨ	0D6H
J	04AH	ウ	0B3H		
K	04BH	エ	0B4H	ラ	0D7H
L	04CH	オ	0B5H	リ	0D8H
M	04DH			ル	0D9H
N	04EH	カ	0B6H	レ	0DAH
O	04FH	キ	0B7H	ロ	0DBH
P	050H	ク	0B8H		
Q	051H	ケ	0B9H	ワ	0DCH
R	052H	コ	0BAH	ン	0DDH
S	053H			ツ	0AFH
T	054H	サ	0BBH	ヤ	0ACH
U	055H	シ	0BCH	ユ	0ADH
V	056H	ス	0BDH	ヨ	0AEH
W	057H	セ	0BEH	ア	0A7H
X	058H	ソ	0BFH	オ	0ABH
Y	059H			ゝ	0DEH
Z	05AH			。	0DFH